

財政状況の公表（平成23年5月公表 平成22年度下半期の財政状況）

平成22年度下半期の財政状況は、次のとおりです。

金額、割合は、表示単位未満で四捨五入しています。このため、収入率、執行率などの数値は、表示されている数値から算出した値とは一致しないことがあります。

各会計の予算執行状況

平成22年度下半期の予算の執行状況は、平成23年3月31日現在、次のとおりです。

各会計の予算執行状況

一般会計および各特別会計の執行状況は次のとおりです。なお、出納整理期間（4月1日～5月31日）の収入額と支出額が反映されていないため、最終的な決算額は異なります。

各会計の予算執行状況

会計	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
一般会計	1,027億8,300万円	914億 100万円	88.9%	846億2,900万円	82.3%
用地特別会計	58億5,200万円	58億5,100万円	100.0%	58億5,100万円	100.0%
国民健康保険事業特別会計	301億6,500万円	273億1,500万円	90.6%	274億 600万円	90.9%
老人保健医療特別会計	1,900万円	1,200万円	61.4%	1,200万円	61.4%
後期高齢者医療特別会計	57億6,900万円	41億9,700万円	72.7%	52億3,800万円	90.8%
介護保険特別会計	172億5,200万円	158億7,100万円	92.0%	156億9,100万円	91.0%

一般会計予算の執行状況

平成23年3月31日現在の執行状況は次のとおりです。

一般会計予算執行状況の歳入内訳

歳入	予算現額(億円)	収入済額(億円)	収入率(%)
特別区税	292	263	90.3
特別区交付金	309	314	101.4
地方消費税交付金・利子割交付金等	49	51	104.7
負担金、使用料及び手数料	30	27	90.2
国・都支出金	221	199	89.8
諸収入	13	11	86.1
特別区債	10	4	38.1
その他	104	45	43.2
歳入合計	1,028	914	88.9

一般会計予算執行状況の歳出内訳

歳出	予算現額(億円)	支出済額(億円)	執行率(%)
議会費	8	7	94.9
経営費	98	60	61.6
区民生活費	88	80	91.0
子ども家庭費	188	175	93.2
保健福祉費	365	325	88.9
都市整備費	80	59	73.5
教育費	88	79	89.3
公債費	59	59	100.0
その他	54	2	3.8
歳出合計	1,028	846	82.3

補正予算のあらまし（平成22年度下半期）

平成22年度下半期には、社会経済状況などの変化に対応するため、予算の補正を以下のとおり行いました。

12月（平成22年第4回中野区議会定例会）

一般会計

3億5,722万6千円の追加補正を行いました。これは、新型インフルエンザワクチン接種助成経費や保育園の増築・耐震補強工事、生活道路拡幅整理などの経費です。

2月（平成23年第1回中野区議会定例会）

事業規模の変更などに伴い、各会計の予算を補正しました。

一般会計

6億8,928万2千円の追加補正を行いました。歳入では特別区税などを増額、特別区債などを減額しました。歳出では人件費や事業規模変更に伴う減額、子ども医療費助成や生活保護費、各種基金積立金などの増額をしました。

用地特別会計

2億6,980万円の減額補正を行いました。

国民健康保険事業特別会計

3億7,444万1千円の減額補正を行いました。

老人保健医療特別会計

5,674万1千円の減額補正を行いました。

後期高齢者医療特別会計

2億1,583万8千円の減額補正を行いました。

介護保険特別会計

1億9,519万円の追加補正を行いました。

区債・一時借入金・基金・区の財産の状況

区債の状況

将来にわたり区の財産となる土地の買入れや公共施設の建設などの財源として発行するものです。いわゆる借金のことです。

区債の状況

区債の種類(発行目的)	平成23年3月末 現在高(億円)	平成22年9月末 現在高(億円)
総務債(土地の取得、庁舎の整備など)	57	57
民生債(社会福祉施設の建設など)	89	94
都市整備債(橋りょう・公園の整備など)	63	73
教育債(小・中学校や社会教育施設の整備など)	32	34
減税補てん債(住民税減税に伴う減収分の補てん)	89	96
その他(区民施設の建設、まちづくりなど)	232	179
合計	562	533

一時借入金

区民税などの収入時期と経費の支出時期のずれなどから、一時的に支払いに必要な資金が不足することがあります。このとき、予定されている収入ですみやかに返済することを条件に、金融機関などから借り入れる資金を一時借入金といいます。

平成22年度下半期には、一時借入金はありませんでした。

基金

基金には、年度間の財政調整を図るための財政調整基金、将来の特別区債の償還に備えるための減債基金のほか、特定の目的のために積み立てるもの、その利子で事業を行うものなどがあります。条例により設置されている、いわゆる貯金にあたるものです。

基金の種類、目的と3月末の現在高は次のとおりです。

基金の種類と目的

基金の種類	設置目的	平成23年3月末 現在高(億円)
財政調整基金	年度間の財源の調整	205
減債基金	特別区債の償還財源確保	54
義務教育施設整備基金	義務教育施設の整備・建設	80
介護給付費準備基金	介護保険給付費の次年度以降の財源確保	16
まちづくり基金	総合的なまちづくりに要する財源確保	17
その他(8基金)	社会福祉施設などの整備や災害対策の財源など	40
合計		412

区の財産

いろいろな事業を実施していくためには、道路、公園などの事業用地や庁舎などが必要です。区ではこうした土地建物のほか物品などの財産を保有しています。これらの財産については、常にその適正な管理に努めています。なお、50万円以上の重要な物品については、特別整理備品として管理しています。

3月末現在の保有高は、次のとおりです。

区の財産

財産の種類	平成23年3月末現在	平成22年9月末現在
土地	101万3,216.04平方メートル	100万4,412.67平方メートル
建物	50万1,920.81平方メートル	50万525.01平方メートル
備品(50万円以上)	2,087点	2,237点

区民のみなさんの区税負担

みなさんに納めていただく特別区民税の区民1人あたり、1世帯あたりの負担額は次のとおりとなります。

・1人あたり 89,709円(昨年3月末は95,498円)

・1世帯あたり 150,615円(昨年3月末は160,986円)

平成23年4月1日現在 人口 311,690人、世帯 185,647世帯で算出(外国人登録者数・世帯含む)